

# 町民参画事業「あびら夢・未来100人町民フォーラム」を開催

開催月日	平成26年11月16日（日）
開催場所	追分公民館

町民の町政への参画を推進するという「まちづくり基本条例」の基本的な考えに基づき、町民参画推進条例では、町民の皆さんの意見を町政に反映させるための方法や手続きを定めています。

条例の施行に先立ち、平成26年11月、町民からの意見聴取の手続きの一つとして定めた「ワークショップ」という手法を使って、現在町が建設を計画している「道の駅」を題材に、「あびら夢・未来100人町民フォーラム」を開催しました。



## 100人町民フォーラム

### ～聞こえてくる感想は「良かった」「次は若い人にも」～

「ワークショップによるまちづくり」の第一人者である石塚雅明氏（株式会社石塚計画デザイン事務所代表取締役）を全体進行役としてお招きし、現在進行中の「道の駅建設計画」を題材に参加者をグループに分けて討議を行い、貴重なご提案を多数いただきました。

参加された方からは、「知らない方と意見交換ができて良かった」「もっと若い町民が参加するように配慮したら良い」などフォーラム全体に対する感想がありましたので、こうした参画機会を検討する際の参考にしたいと考えています。

## フォーラムの流れ



①午前は、講師による基調講演「みんなで考えるまちづくりーあなたのアイデアで地域が変わるー」が行われました。



②午後からは、全体を大きく3つのテーマにわけ、5～6人ごとにグループ討議を行いました。

③各グループの提案を3～5つに絞り込み、全体に発表。参加者全員で良いと思う提案にシール投票をしていきました。



## テーマ1【休憩機能】

### 道の駅を

#### 「魅力的で人が集まる休憩の場に」するには

「大型駐車スペースがほしい(右折レーンが必要)」(15)
「焼きたてパンの提供(地場産品の使用、匂いで人をひきつける)」(6)
「安平の特産品を販売する(農産物、スイーツなど)」(1)
「宿泊できるような広い駐車スペースがあると良い(車内で長時間滞在)」(8)
「大型運転手がリラックスできる温泉(シャワー施設)があると良い(オートキャンプ場等)」(3)
「広いスペースがほしい!(スポーツ施設や芝生の整備)」(1)
「夕日、池、牧場、美しい花が眺める展望スペースがほしい(花はゼッタイ!食事後も居れるように)」(10)
「写真マニア(特にSL)が写真等を自由に展示できるギャラリー(通路でも良い)があると良い」(4)
「子供たちが自由に遊べる空間(木のおもちゃ、室内なら冬も集まる、広い空間は災害時に避難場所に、動くミニSL、水遊びができる公園)」(26)
「子供が遊べるアトラクションがあると良い(そりすべりや芝生でピクニック)」(10)
「ガソリンスタンドと整備のできるお店を(電気自動車の充電も)」(11)
「お祭りイベントを開催できるステージを(地域・季節限定販売所もできる)」(8)
「美味しい食事ができる場所を作る(ソフトクリーム・だんご等、地元のお母さんなど地域の人が交代で運営)」(4)

## テーマ2【情報発信機能】

### 道の駅を

#### 「安平町を知ってもらう情報発信の場に」するには

「道の駅に来た人が一目で簡単にわかる情報提供(みどころ、ホームページ)」(6)
「ケータイ(Facebook)テレビ(データ放送)等で発信(ちょっと知っている人にはもっと知ってもらう)」(5)
「この道の駅に来ると美味しいものがあるというイメージをつくる」(1)
「安平町の道の駅そのものの情報を発信する(こんな道の駅ですよ~!)」(1)
「(ボランティアによる)街の歴史や名所の紹介があればいい(SL、木造サイロ、チーズ発祥の地)」(13)
「特産品の紹介と特産品を使った調理レシピの方法などの情報提供(実は町民も特産品を知らない)」(2)
「(パネル写真やパンフレットで)安平町らしい風景を紹介できる施設になればいい(牧場や夕日、菜の花など)」(9)
「空港や港で安平町ブースを作ってPRする(町外での道の駅PR)」(7)
「北海道出身の有名人に‘宣伝大使’になってもらう(TVラジオへの露出)」(1)
「夏は菜の花、赤いひまわり、冬は雪をテーマに!(交通便利を生かしたツアー受入等)」(9)
「空港と大都市への近さ・交通の便の良さをPR(都会のすぐ横にあるド田舎)」(4)
「国道から見える体験型(SLや馬)道の駅に(インパクトあるネーミング・ゆるキャラ)」(14)
「馬の情報を発信しよう(馬グッズ等)」×2件(2+9)
「特産品に冠を!『安平』ネームをつける(ブランドシール、看板メニューの開発)」(7)
「高速インターチェンジの名前を安平町にする(いつまでも旧町名で認識されてしまう)」(8)
「日本一、オンリーワンのために馬のモニュメントを作る(話題性できる)」(5)
「Liveカメラで町の旬な情報を流す」(10)
「一目で安平町だとわかるインパクトある道の駅(競馬速報が流れる、動くSL、足湯)」(9)

### テーマ3【地域連携機能】

### 道の駅を

### 「まちの活性化につながる場に」するには

「四季を通じて新鮮で安平でしか手に入らない地場産品を販売（商品開発も）」(15)
「町の歴史や観光案内を魅力ある会話と親切な接客で案内できる人を置こう」(3)
「外国人観光客に対応したパンフレットや看板を設置し、標識などを教えることができる施設を目指そう」(5)
「アイデア豊富な駅長が必要！（やわらかい人柄、温かいスタッフも）」(10)
「町民で道の駅を支えよう（清掃、ボランティア体制、町の人が愛せないと町外の人にも愛してくれないよ）」(1)
「みんながくつろげる空間を作ろう（外観は石や木材も、オシャレで女性に人気のある場所に）」(10)
「現役をリタイヤした農家や家庭菜園が上手な人も参加した直売所で珍しい野菜（七列とうきび）や不揃いの野菜を販売できる場所がほしい」(8)
「隣接地（神社等）の複合活用」(1)
「雪だるま作り合戦や子供向けイベント（ヨーヨーすくいなど）等を観光会社と連携して実施したい」(5)
「町内の飲食店も参加しながら、町内の農産物をふんだんに使用した体にやさしいレストランがほしい（畑の展示があると面白い）」(3)
「駐車場の広さやシャワー設備に配慮し、運転手や来場者の休憩機能を高めよう」(3)
「きれいで手入れが行き届いていて牧歌的な風景を活かした施設を目指そう」(3)
「シャワーとコインランドリーを兼備した休憩室を作ろう（トイレは全てウォシュレット、災害時は避難場所に）」(15)
「フードマイスターを配置した地元農畜産物の直売所をつくろう（越冬野菜も）」(1)
「サイクリングガイドを設置したレンタルサイクル（花観光とつなげる）」(11)
「(町民みんなが参加できる体制で) 地場食材を使った食べ物を販売しよう（レストラン、テイクアウト、ジュース、スムージー）」(1)
「町民（特に高齢者）が気軽に寄れるように無料送迎バスや日用品を販売して交流のできるスペースがほしい」(18)

#### ■ フォーラムで出された提案内容の行方は？

グループ討議が終わった後、参加者からは「みんなで出した提案はこの後どうなるの？」「意見取り入れてもらえるの？」という声も聞こえました。町民参画推進条例では、町民から意見を聴くだけでなく、これらを可能な限り、町政へ反映させなければ意味がないものと考えています。

今回のフォーラムで提案された意見は、その後行った役場内の協議で、「すぐに道の駅の計画に取り入れるべきもの」「大きな費用がかかるので慎重に検討するべきもの」「道の駅ではなく、町のほかの施策に反映した方が、効果が出るもの」などに分類。道の駅に関係した「すぐに道の駅の計画に取り入れるべきもの」は、現在策定中の建設基本設計に反映できるよう、委託先のコンサルタント会社と協議を進めています。

#### ■ 町民参画の推進における課題と今後に向けて

「いただいた貴重な意見は反映すべき」という理想を持ちつつ、「でも費用面や運営面から、意見の全てを取り入れることは簡単ではない」という大きな課題も見えた今回の100人フォーラム。町民の皆さんに、こうした課題があることを共通認識のうえ参画いただくためには、十分な情報共有と運用手法の定期的な見直し、そしてこうした機会を数多く行いお互いの役割を認識していくことが重要だと再認識しています。

まちづくり基本条例、そしてこれに関連した町民参画推進条例の施行により、今後今回開催した「100人フォーラム」のような町民参画の機会が一層増えていきます。ぜひ多くの皆さんに関心を高めていただき、よりよいまちづくりを進めていきたいと考えています。